



# キハ81・キハ82 900 説明書

1-612 キハ81  
1-613 キハ82 900

このたびは、KATOのキハ81・キハ82 900をお求めいただきまして、誠にありがとうございます。  
ご使用前に、この説明書をよくお読みになって、ご愛用いただきますようお願いいたします。

## ■実車の紹介

キハ80系は昭和35年(1960)、初の特急用気動車として登場。先頭のキハ81は特徴あるボンネットスタイルで話題を呼びました。翌昭和36年(1961)の増備車から先頭車は正面貫通ドアを設けたキハ82となり、北海道・本州・九州の各地で使用されてから、長年に渡りディーゼル特急の主流として活躍しましたが、平成4年(1992)の紀勢本線を最後に惜しまれながら定期運用を退きました。

## ■製品について

- ・ヘッド/テールライトはLEDによる点灯式となっており、中間連結時の消灯も可能です。
- ・実際に連結が可能なKATOカプラー密着自連形を全車に装備しております。

## ■模型仕様

・全長：267mm(キハ81)、265mm(キハ82 900) ・最小通過曲線R550 ・消費電流：DC12V時：0.06A

## ■オプションについて

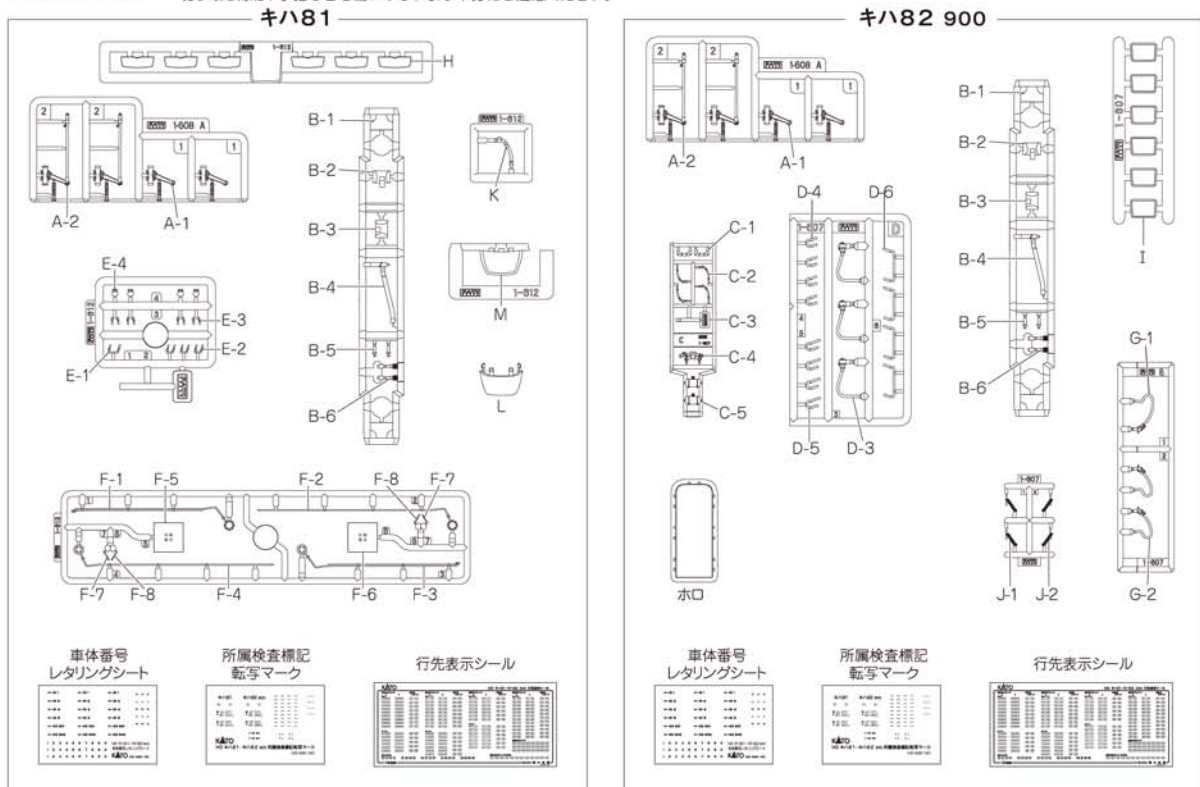
各形式とも、オプションで(HO)LED室内灯クリア(品番7-504)・(HO)LED室内灯クリア(電球色)(品番7-505)の取り付けが可能です。また、乗客や乗務員を再現できる各種HOゲージ人形(品番6-501~6-511)もございます。

## ■車両の取り扱い方と運転時の注意

- ・運転はDC(直流)16V以下で行ってください。なお、AC(交流)を走行用には絶対に使用しないでください。
- ・脱線やショートした場合はただちにパワーパックのプラグをコンセントからぬいて、電源を切ってください。また、すみやかに原因を取り除いてから復旧してください。
- ・運転の前に、線路についた綿ホコリはハケのようなもので必ず取り除いてください。車両の故障原因となります。運転の前にはレールの上面をやわらかい布にユニクリナー(品番24-020)をつけて磨き、その後乾拭きをしてください。

## ■付属部品

●図に記載された記号と、ランナー自体の刻印は異なる場合があります。また、各部品はニッパーやカッターナイフでていねいに切り取ってください。切り取る際は、手指などを傷つけないよう十分にご注意ください。

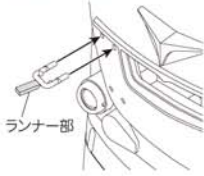


036-0698 LOT:3910613

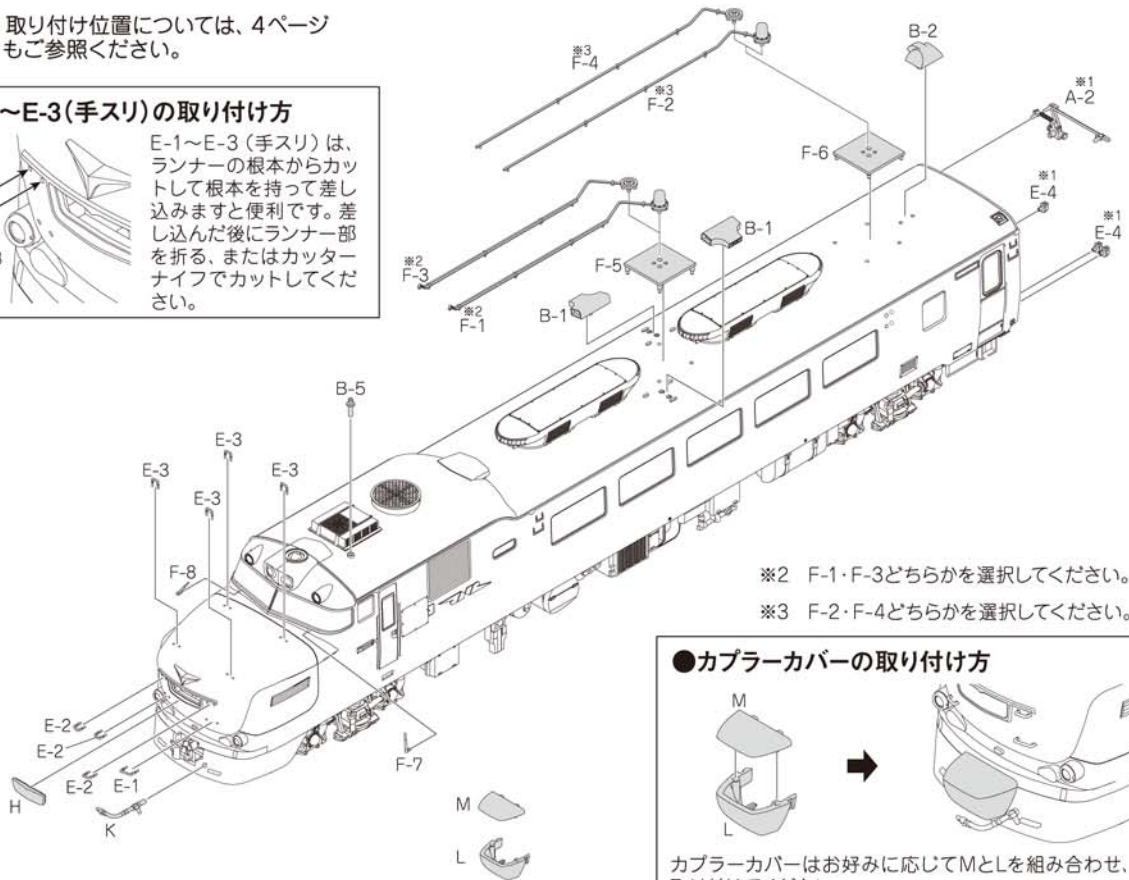
## ■付属部品の取り付け方(キハ81)

※1 取り付け位置については、4ページもご参照ください。

### ●E-1～E-3(手スリ)の取り付け方



E-1～E-3(手スリ)は、ランナーの根本からカットして根本を持って差し込みますと便利です。差し込んだ後にランナー部を折る、またはカッターナイフでカットしてください。



※2 F-1・F-3どちらかを選択してください。

※3 F-2・F-4どちらかを選択してください。

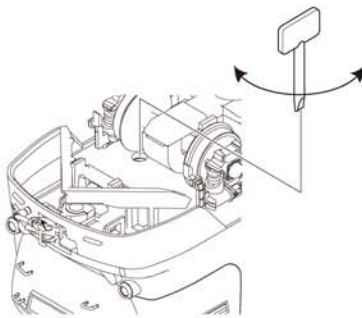
### ●カプラーカバーの取り付け方



カプラーカバーはお好みに応じてMとLを組み合わせ、取り付けてください。

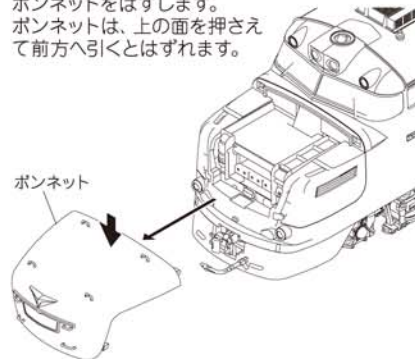
## ■ヘッド／テールライト消灯スイッチの切り替え(キハ81)

付属のドライバーで、ヘッド／テールライトをOFFにすることが可能です。



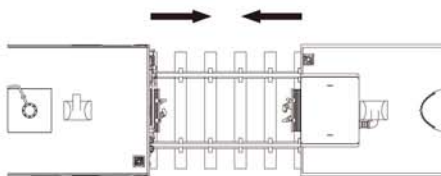
### ●ボンネットについて

ヘッドマークをはずす際は、ボンネットをはずします。ボンネットは、上の面を押さえて前方へ引くとはずれます。

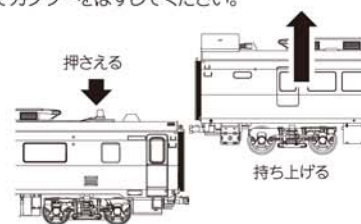


## ■車両の連結・切り離しについて

●連結する際は、車両を直線線路上にのせて軽く突き当てます。

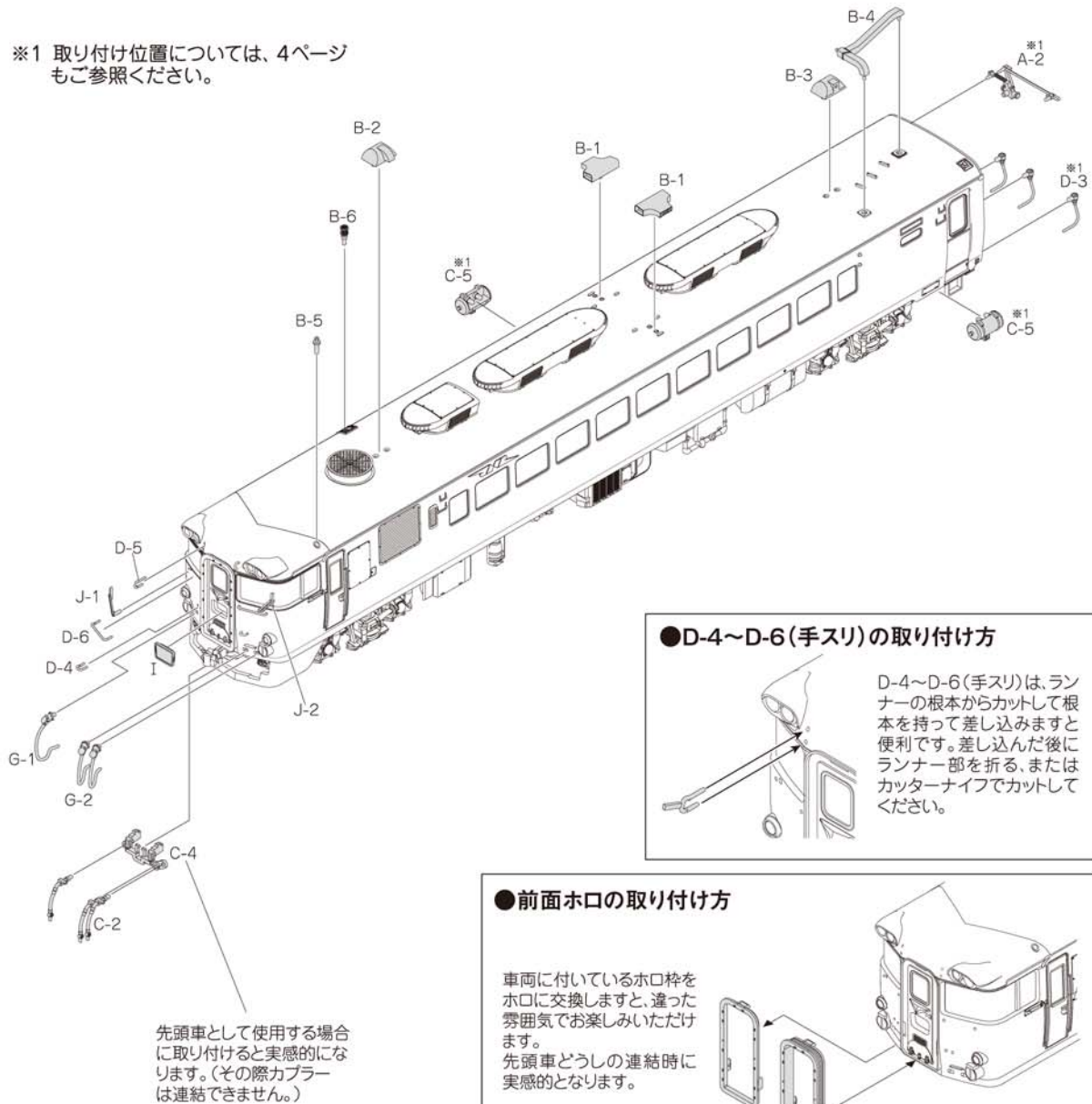


●切り離す場合は片方の車両を下に押さえ、もう一方の車両を垂直に持ち上げてカプラーをはずしてください。



## ■付属部品の取り付け方(キハ82)

※1 取り付け位置については、4ページもご参照ください。



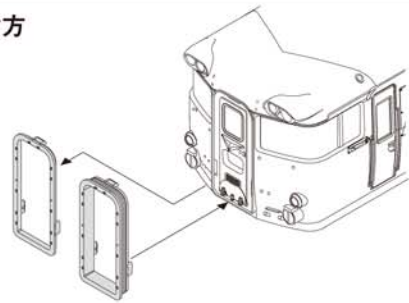
### ●D-4～D-6(手スリ)の取り付け方



D-4～D-6(手スリ)は、ランナーの根本からカットして根本を持って差し込みますと便利です。差し込んだ後にランナー部を折る、またはカッターナイフでカットしてください。

### ●前面ホロの取り付け方

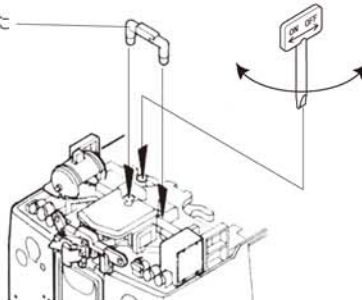
車両に付いているホロ枠をホロに交換しますと、違った雰囲気でお楽しみいただけます。先頭車どうしの連結時に実感的となります。



先頭車として使用する場合に取付けると実感的になります。(その際カブラーは連結できません。)

## ■ヘッド／テールライト消灯スイッチの切り替え(キハ82 900)

他のカブラーに交換した場合に取り付けます。(C-1)

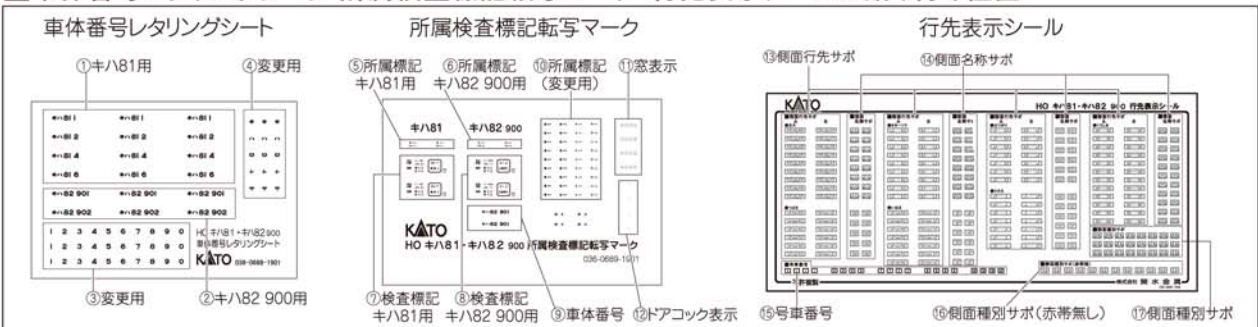


先頭車が中間に連結される場合は、付属のドライバーでヘッド／テールライトをOFFにしてください。

※説明のため他の車両の図を使用していますが、本製品も同じです。



## ■車体番号レタリングシート・所属検査標記転写マーク・行先表示シールの貼り付け位置



### レタリングシートの貼り方

1. 車両の転写位置の油分やヨゴレを乾いた布などで拭き取り、レタリングシートの必要部分をカットします。
2. レタリングシートの転写部分が透明保護シートに付いていることを確かめながら、リリースペーパーをゆっくりとはがします（転写部分がリリースペーパーに残ってしまった場合は、透明保護シートを元に戻し再びはがす作業を繰り返してください）。
3. 転写位置に置き、透明保護シートの上からボールペンなどで軽くこすって転写します。定着を確認してから、透明保護シートをゆっくりとはがします。
4. 最後にフィルムの粘着面にあててあるリリースペーパーを、写した文字の上にあててボールペンなどでこすり文字を定着させます。

失敗した場合や貼り替えたい時には、文字の上にセロハンテープを貼ってこすれば簡単にはがすことが可能です。

- ③④は番号を変更する際にご使用ください。

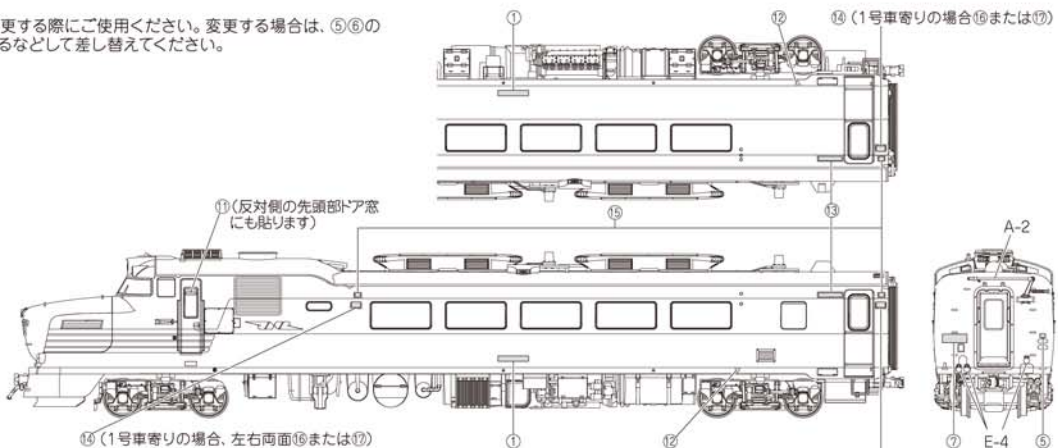
### 転写マークの貼り方

1. 車両の転写位置の油分やヨゴレを乾いた布などで拭き取り、転写マークの必要部分をカットします。
2. 転写マークの転写部分が透明保護シートに付いていることを確かめながら、裏の紙をゆっくりとはがします。（転写マークが裏の紙に残ってしまった場合は、透明保護シートを元に戻し再びはがす作業を数回繰り返してください。）
3. 所定の位置に置き、透明保護シートの上からボールペンなどで軽くこすって転写します。定着を確認したのち、透明保護シートをゆっくりとはがします。

※転写マーク・レタリングシートは湿ると定着する特性をもちます。転写部分を長時間指で押さえたりしますと、体温でリリースペーパーに定着してしまうことがあります。作業は、指などで直接転写部分に触れないように行ってください。

- ⑩は所属標記を変更する際にご使用ください。変更する場合は、⑤⑥の上部のみを切り取るなどして差し替えてください。

### キハ81

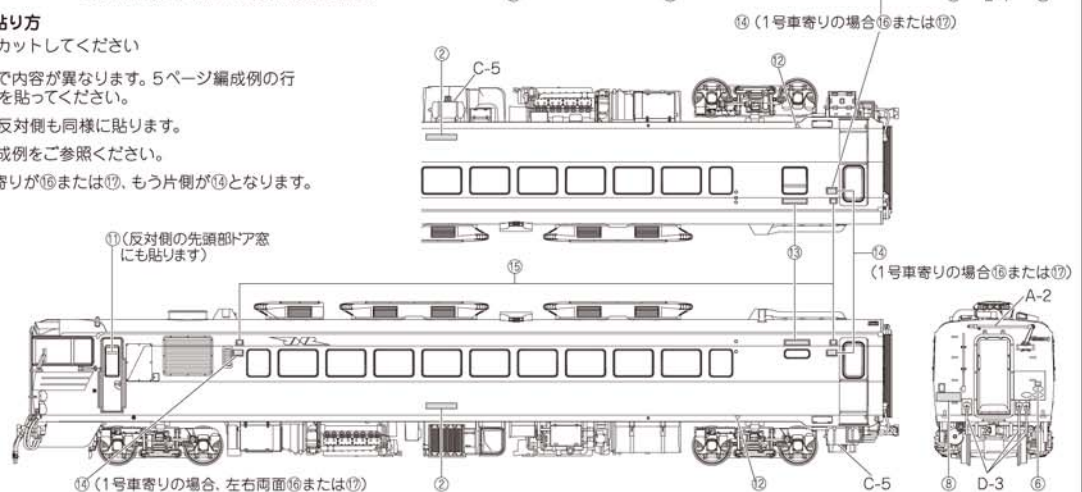
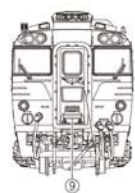


### 行先表示シールの貼り方

シールは枠の内側をカットしてください

- ⑬は、車両の左右で内容が異なります。5ページ編成例の行先に合わせてA・Bを貼ってください。
- ⑭⑮⑯は、図の反対側も同様に貼ります。
- ⑮は5ページの編成例をご参照ください。
- 各車両とも1号車寄り⑯または⑰、もう片側が⑬となります。

### キハ82 900



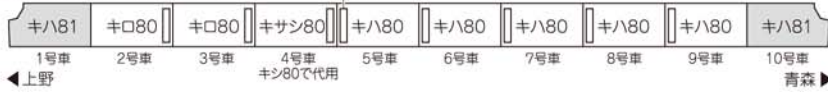
■編成例

キハ81 編成例

□:キハ81    ■:キハ82 900    □:キハ82系4両基本セット    □:キハ82系単品

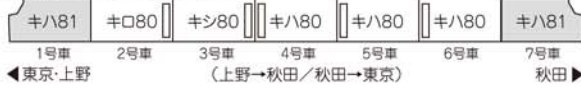
■はつかり

昭和39年9月～昭和43年9月



■つばさ

昭和43年10月～昭和44年9月



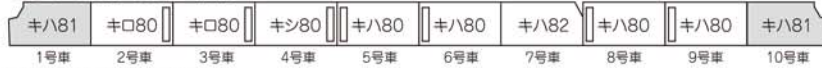
■いなほ・ひたち

昭和47年3月～昭和47年9月



■くろしお

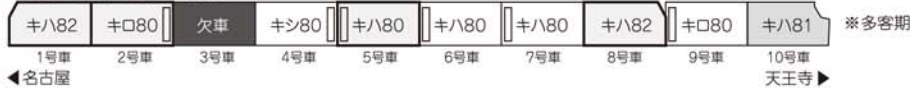
昭和48年10月～昭和51年9月



昭和51年10月～昭和53年1月



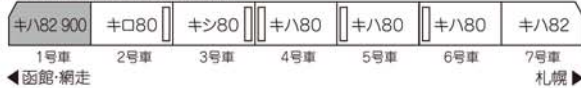
昭和53年2月～昭和53年9月



キハ82 900 編成例

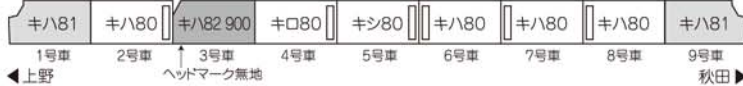
■北斗・オホーツク

昭和47年10月～昭和56年9月



■いなほ・ひたち

昭和47年3月～昭和47年9月



キハ82 編成例 (キハ82のうち1両はキハ82 900の場合があります。)

■白鳥

昭和45年3月～昭和47年3月



■かもめ

昭和43年10月～昭和47年3月



■まつかぜ

昭和43年10月～昭和47年3月



